

## 海外安全対策情報 平成29年度第1四半期

### 1. 社会・治安情勢

(1) 首都コナクリ市の電力事情については、2015年のカレタ・ダム水力発電所の稼働により大きく改善していますが、今後も良好な電力供給を維持できるかは不透明です。また、市内の給水事情は依然として厳しく改善されていません。以前市内で停電や断水を理由として住民たちが市内各所で道路封鎖や車両への投石を行い、負傷者が出るという事件が発生していたことを考えると、今後とも十分な注意が必要です。

(2) 地方選挙実施が延びており、野党側はデモやストライキを計画し、社会が不安定となり治安情勢が悪化する可能性も排除出来ません。2015年の大統領選挙期間中には、選挙プロセスを巡る野党側の抗議活動や与野党選挙運動員の衝突により、コナクリ市内で多数の死傷者や物的損害が出たとの経緯があります。

(3) 3月、ギニア保健省は、同国内での、麻しん（はしか）の流行宣言を発出しました。1月から7月1日までに、麻しんの感染疑いが、7,706例発生し、検査などで4,730例が確定例として確認されたと発表しています。死亡例は205例です。

### 2. 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

4月～6月の間、日本人が被害に遭った事件は確認されておられません。一般犯罪は、従前と比較し改善していると言われてはいますが、政府車両を標的にした強盗や、裕福な家を狙った強盗事案がたびたび発生しています。

また、国境周辺や幹線道路沿いでは、長距離タクシーや乗用車を狙ったカージャックによる被害も治安機関より確認されています。

今後も、犯罪に巻き込まれないよう、行動には一層の注意を払うとともに、自分と家族の安全は自ら守る心構えが必要です。防犯の心構えとして当館ホームページ【安全の手引き】をご覧ください、未然の防止に努めてください。

#### (1) 一般犯罪・凶悪犯罪事案

##### ○コナクリ市

4月11日、日中、ラトマ区コロマ地区にある金融業者の事務所が武装強盗に襲撃され、現金を強奪されました。

○4月28日、ラトマ区ソンフォニア地区でカージャックが1件発生しています。

##### ○ボケ県

4月25～26日、ボケ市内で電気や水不足に不満を持った住民が暴徒化し、県知事事務所や憲兵隊事務所、EDG（電力会社）を襲撃し、建物を破壊しました。また、暴徒化した住民は治安当局と衝突し、死傷者が発生しました。（死亡者1名、負傷者29名）

○テレメレ県

4月17日、複数の店舗が武装強盗によって襲撃され、現金を強奪されました。

○ンゼレコレ県

4月20日、バイクタクシー窃盗犯の捜査の過程で、ンゼレコレ中央副所長が事件の共犯者だと言うことが判明し、辞職を余儀なくされました。

5月、ヤレンズウ地区でバイクタクシーが乗客を装った2人組に襲われ、銃で殺害されました。

○キシドゥグ県

4月21日、武装強盗がキシドゥグ県境付近でミニバスを襲撃し、乗っていた乗客から現金等を強奪しました。

(2) 邦人被害事案

邦人被害事案は確認されていません。

(3) 邦人以外の被害事案

在留外国人の被害事案は確認されていません。

3. テロ・爆弾事件発生状況

ギニア国内ではテロ・爆弾事件は発生していませんが、治安当局は昨今の西アフリカ周辺におけるテロ発生について警戒をしており、主要なホテルや公共施設に治安部隊を配置し警戒に当たっています。

4. 誘拐・脅迫事件発生状況

ギニア国内では在留邦人、在留外国人の被害事案は確認されていません。

5. 対日感情

ギニア人の日本人に対する感情は良好です。

6. 日本企業の安全に関わる諸問題

ギニア人の対日感情は良好であることから、日本企業であることを理由に犯罪の標的にある可能性は低いと思われます。

以上